

島根県立浜田ろう学校 「心に残る文化財子ども塾」

1. 活動の概要

11月25日(水)、島根県立浜田ろう学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。今回は「古代の生活様式を学習することとまが玉作り体験」がテーマで、小学部4～6年生が5校時目に授業を受けました。

前半は浜田市内の遺跡から出土した土器などを実際に見学しました。縄文時代早期の黒曜石製やじりをみて、6000年前に隠岐の島から石材が持ち込まれていることを知りました。また歴史年表と照らし合わせながら、同じ目的の道具でも時代により、形、材質、作り方、色合いなど様々な特徴があることが分かりました。

後半は、まが玉作り体験を実施しました。遺跡から出土するまが玉よりも柔らかく加工しやすい石を使用しましたが、簡単には勾玉の形にはならず、古代のまが玉づくりのたいへんさを実感しました。しかし根気強く作り方を勉強しながら、勾玉の形に仕上がっていききました。

長い時間取り組みましたが、全員集中して作成することができ古代の人々の生活の一端を感じることができたと思われまます。

2. 活動の様子

1) 勾玉づくり実施状況



手元で完成品を見たり、作り方を確認しながらいっしょうけんめいづくりました。



作り方をしっかりと聞き、順序よく作ることができました。

3. 活動をおえて

1) 児童の皆さんから

- ・まが玉をつくるのは難しかったがまたやりたい。
- ・削ると小さくなり、まるくなるのが心に残った。
- ・古墳を調べてみたい。

2) 担任の先生から

- ・実際に出土した資料(まが玉、やじりなど)をみることにより実感できてよかった。
- ・勾玉づくり説明用の模型があり分かりやすかった。
- ・「○○づくり」のメニューを増やして欲しい。

3) 講師から

・今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な制約があったが、先生方のご協力と児童の意欲的な姿勢などによりいつもと同じように実施できたように思われます。比較的少人数であったが、参加者の気持ちが伝わりやすく、充実した時間となりました。